

テレビ番組に出演

神谷 俊之

留学生活から早くも10カ月がたち帰国する日が近づいてきました。この10カ月は内容がとても濃く、自分の性格や考え方が日本にいた頃よりも少し変わったような気がします。変わった理由としては、日本と中国の文化の違いからだと思います。例えば、私が中国人の友達といる時に、日本と違って何かを伝えるときにストレートに伝えないと伝わらないこともよくありました。日本にいた頃は何かを伝えるときにストレートに言うのではなく、少し表現を和らげて言っていました。しかし、中国ではそのような伝え方では伝わらないため、中国に留学に来てからはストレートに伝えるように心がけました。そのうち自然にストレートに物を言うようになりました。私はこのように物事をストレートに伝えるということは、外国人と会話をする中でとてもプラスになると思いました。なぜなら英語を使って会話をするときも中国語と同じように物事はストレートに伝えることがほとんどだからです。なのでこの経験を元にこれからも色々な外国人と接していきたいと思います。

6月末に中国人の友達の紹介で、同じ埼玉の親善大使で留学をしている吉田さんと一緒に山西省のテレビ番組に出ました。このテレビ番組は障害物をクリアしていき、ゴールを目指す番組です。日本のサスケという番組の中国版のような物です。私たちは山西テレビ局に行き、そこから同じ参加者の中国人の方たちと一緒にバスで会場の近くのホテルに向かいました。ホテルに行く途中テレビ局の人が、いきなりみんなに自己紹介をするようにと言い一人一人に聞き始めました。乗客の人たちは自分の特技を披露したりしてバスの中は大盛り上がりでした。ある人は歌を歌ったり、ある人はマジックをしたりしていました。そして私たちの番になったときに私たちは特にその場で見せるような特技もなく、ただ自己紹介をしただけでしたが、乗客の方々から大きな拍手をもらいました。そのあと彼らは私たちにお菓子をくれたり、話しかけてくれたりしてくれました。そしてホテルに着き、一泊した次の日にテレビ番組に出演しました。私と吉田さんはゴール出来ませんでしたが、一緒に参加した中国人の方々とは仲良くなることが出来とても良かったです。日本に帰国しても彼らとは連絡を取ってみたいです。



テレビ番組の会場



テレビ番組で仲良くなった中国人の友達